電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかけます

●相手の携帯電話の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない所にいるときには、音声ガイダンスで接続できないことをお知らせします。
●ダイヤル発信制限中は、緊急通報（110番、119番、118番）以外は電話番号を入力して電話をかけることはできません。→P160

1 待受画面で電話番号を入力する

ダイヤル入力中
ボタンで電話をかける
090XXXXXXXX

●一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

●最大80桁入力できます。
●戻る：電話番号を訂正できます。1秒以上押すと待受画面に戻ります。

2 を押す

通話中 はっきりボイス
自分の番号 090XXXXXXXX
ボタンでゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。
●ディスプレイには通話時間が表示されます。
●通話中自局番号表示設定を「1 表示する」に設定している場合は、自分の電話番号が表示されます。→P54

■「ツーツー」という音が聞こえたとき

相手がお話し中です。を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P55

■発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたとき

を押していったん発信を終了し、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P44、P56

3 お話しが終わったらを押す

●FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

● [を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。
● 発信者番号の通知／非通知を指定しないで電話番号を入力して電話をかけた場合は、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P44
● 複数の通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P489

はっきりボイスの設定

お買い上げ時 はっきりボイスオン

はっきりボイスをオンに設定すると、通話中に周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えて騒音が大きくなった場合に、自動で相手の声を強調し、聞き取りやすくします。
● スピーカーホン機能使用中は、本機能は動作しません。
● はっきりボイスの設定内容は、通話終了後も保持されます。
● 本機能は音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調節してください。→P68

1 通話中に(メニュー)▶「5 はっきりボイスオフ」または「5 はっきりボイスオン」を押す

通話中 はっきりボイス
自分の番号 090XXXXXXXX
ボタンでゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX

はっきりボイスをオンに設定すると赤色で表示されます。スピーカーホン機能使用中はグレーで表示されます。

ゆっくりボイスの設定

お買い上げ時 ゆっくりボイスオフ

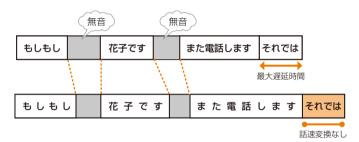
通話中の相手の話す速度が調節されて聞き取りやすくなります。
● スピーカーホン機能使用中でも、本機能は動作します。
● ゆっくりボイスの設定内容は、通話終了後は解除されます。

次ページへ

1 通話中に[はっきりボイスキー]を押す

- ゆっくりボイスを設定中に[はっきりボイスキー]：
  ゆっくりボイスを解除します。

ゆっくりボイスとは

無音区間を利用して、相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節する機能です。

- ゆっくりボイスを設定すると、相手の声質が変化する場合があります。
- 相手が区切りのない話しかたをしたときなど、ゆっくりボイスが機能しない場合は、通常の速度に聞こえます。
- 時報や音楽などを聞くときは、ゆっくりボイスを設定しないでください。

通話中保留

自分の声が相手に聞こえないように通話を保留にします。

- 保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
- 保留中にFOMA端末を折り畳むと、電話は切れます。

1 通話中に(決定)を押す

点滅します。

左の画面が表示され、ランプが点滅します。自分のFOMA端末と相手にメロディ（エンターテイナー）が流れます。

- (決定)／[［]：保留を解除します。

- 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更できません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して保留中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、保留は継続されます。

スピーカーホン機能の使いかた

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で通話できます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中は、本機能を使用できません。
- FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
- スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- スピーカーホン機能は、通話終了後は解除されます。

1 通話中に [または 電話帳 を押す

🔈→🔊 が 🔊→🔈 に切り替わります。

- [または 電話帳 を押すたびにスピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。
- 発信中または呼出中に [を押しても、スピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。

お知らせ

- 通話中、周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。

通話中のサブメニューからの操作について

サブメニュー（→P30）から次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 通話を保留／1 保留を解除	通話を保留または保留を解除します。	P52
2 電話帳を見る	電話帳を表示します。	P101
3 着信履歴を見る	着信履歴を表示します。	P66
4 リダイヤルを見る	リダイヤルを表示します。	P55
5 はっきりボイスオフ／5 はっきりボイスオン	はっきりボイスをオフまたはオンに切り替えます。	P51

次ページへ

サブメニュー	説　明	参照先
6 ゆっくりボイスオン／ 6 ゆっくりボイスオフ	ゆっくりボイスをオンまたはオフに切り替えます。 • 保留中はオン／オフを切り替えられません。	P51
7 スピーカーで聞く／ 7 受話口で聞く	スピーカーホン機能を設定または解除します。 • 保留中はスピーカー／受話口を切り替えられません。	P53
8 日付時刻の設定	日付・時刻を設定します。	P43
0 自分の電話番号	自分の電話番号（自局電話番号）を表示します。	P46

通話中自局番号表示設定

自局電話番号を通話中画面に表示するかどうかを設定します

お買い上げ時　表示する

本機能を「表示する」に設定した場合、通話中の画面に自分の電話番号が表示されます。

通話中　はっきりボイス
自分の番号　090XXXXXXXX ― 自分の電話番号
ボタンで ゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX

1 待受画面で(メニュー)▶「9 詳細な設定」▶「3 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0 通話中に自分の番号を表示する」を押す

通話中に
自分の電話番号を
表示しますか？
1 表示する
2 表示しない

2 「1 表示する」または「2 表示しない」を押す

通話中の自局番号表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

リダイヤル

前にかけた相手にかけ直します

メニュー 12

こちらからかけた電話を発信履歴（リダイヤル）として記録します。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに簡単な操作でかけ直せます。

- 最大30件記録されます。30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- 同じ電話番号に通知または非通知を設定してかけた場合は、それぞれ最新の1件のみが記録されます。
- 履歴表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 待受画面で[→]▶[✉][▢]を押してかけ直すリダイヤルを表示する

2 [発信]を押す

電話がかかります。

■ iモードメールを作成するとき

[メニュー]▶「[7]メールを作る」を押す

リダイヤルの電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面（→P268）が表示されます。

リダイヤルの削除

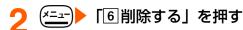
1件ずつ、またはすべてのリダイヤルをまとめて削除できます。

1 待受画面で[→]▶[✉][▢]を押して削除するリダイヤルを表示する

リダイヤルの表示画面が表示されます。

次ページへ

2

（メニュー）▶「6 削除する」を押す

削除するﾘﾀﾞｲﾔﾙを
選んでください
1 選択1件
2 全件

3 「1 選択1件」または「2 全件」を押す

選択した／全てのリダイヤルを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 （決定）を押す

リダイヤルの表示画面に戻ります。リダイヤルがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にします

電話をかけるときに相手の電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。

● 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
● 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
● 自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定するには、次の方法があります。
  • 電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知をあらかじめ一括して設定→P44
  • 電話番号の前に「186」または「184」を付けて発信→P56
  • 電話をかけるときに発信者番号の通知／非通知をサブメニューから選択→P57

「186」／「184」を付けた電話のかけかた

「186」を付けて発信します

相手に電話番号を通知します。

1 待受画面で（1）（8）（6）▶電話番号を入力▶（発信）を押す

電話がかかります。

「184」を付けて発信します

相手に電話番号を通知しません。

1 **待受画面で1 8 4▶電話番号を入力▶[を押す**

電話がかかります。

サブメニューからの通知／非通知の選択

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を選択します。リダイヤルや着信履歴などから電話をかけるときにも選択できます。

1 **待受画面で電話番号を入力▶メニューを押す**

1 電話帳に登録
2 電話帳に追加
3 通知で電話
4 非通知で電話
5 ワールドコール
6 簡易サイト接続

2 **「3通知で電話」または「4非通知で電話」を押す**

● 着信履歴から操作するときは、「5 通知で電話」または「6 非通知で電話」を押します。

お知らせ

● 電話をかけたとき、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知しておかけ直しください。
● 複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次のような順位（①→③）で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
①相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合
②発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合
③発信者番号通知の設定をした場合
● 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号がついた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送ります

FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送って、ご自宅の留守番電話や各種のプッシュホンサービスなどを操作できます。また、電話をかけるときにポーズやタイマーを入力することにより、番号を区切って送出することができます。

通話中にプッシュ信号（DTMF）を送ります

1 **通話中に0～9、＊、＃を押す**

ポーズ「P」を入力するには

自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。

1 **待受画面で電話番号を入力▶＊を1秒以上▶送出する番号を入力▶［を押す**

〈例〉「03XXXXXXXXP12345」で発信したとき

電話がつながった後に決定を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

タイマー「T」を入力するには

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（「T」）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 **待受画面で電話番号を入力▶＃を1秒以上▶内線番号を入力▶［を押す**

- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- タイマー（「T」）は連続して入力できます。

● プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
● スピーカーホン機能を使用する場合は、スピーカーホンに切り替えてからプッシュ信号（DTMF）を入力してください。

WORLD CALL
国際電話を利用します

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

● 通話方法

0 1 0▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[を押す
※ 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
※ 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
※ 009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号でもかけられます。

● 通話先は世界約240の国と地域です。
●「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
● 申込手数料・月額使用料はかかりません。
※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
● 一部ご利用になれない料金プランがあります。
● 詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

簡単な方法による国際電話のかけかた

1 **待受画面で国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力する**

ダイヤル入力中
ボタンで
電話をかける
86XXXXXXXX

● 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 **メニュー▶「5ワールドコール」を押す**

ダイヤル入力中
ボタンで
電話をかける
0091300
1086XXXXXXXX

3 **を押す**

国際電話がかかります。

お知らせ

● 国番号を含めた電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくと、簡単に国際電話をかけることができます。
→P102「電話帳から電話をかけます」の「お知らせ」
● 待受画面で0を1秒以上押して「+」を入力した後、国番号、市外局番、電話番号を入力しを押しても、国際電話をかけることができます。

サブアドレスを指定して電話をかけます

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出します。

● サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。

1 待受画面で電話番号を入力▶(＊)（サブアドレスの区切り）▶サブアドレスを入力▶([ )を押す

お知らせ

● ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

再接続アラーム

途切れた電話を再接続するときのアラームを設定します

お買い上げ時　低音で鳴らす

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。

● 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
● 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
● 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
● 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「4音を設定する」▶「5再接続した時の音を選ぶ」を押す

再接続した時の
アラーム音を
選んでください

1高音で鳴らす
2低音で鳴らす
3鳴らさない

2 「1高音で鳴らす」～「3鳴らさない」のいずれかを押す

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (―)を押すと待受画面に戻ります。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話します

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から電話の発着信などの操作ができます。

●ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ

●着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。ただし、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード中や着信音設定を「鳴らさない」に設定していても、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
●ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末を折り畳んでも通話は継続されます。
●公共モード中の着信動作は、公共モードの設定に従います。
●伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

電話を受けます

●FOMA端末を開くだけでは電話に出ることはできません。

1 電話がかかってくる

着信しています
[ボタンで通話
090XXXXXXXX

着信音が鳴り、ランプと[が点滅します。
●FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電話です」が表示されます。

2 [を押す

通話中 はっきりボイス
自分の番号 090XXXXXXXX
ボタンでゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX

お話しください。
●ディスプレイには通話時間が表示されます。

3 お話しが終わったら[—]を押す

●FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

ディスプレイの表示について

相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像などがディスプレイに表示されます。

● 電話番号が通知されたときは、背面ディスプレイにも電話番号や電話帳に登録している名前が表示されます。電話番号が通知されていないときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
  - 背面ディスプレイに情報を表示しないように設定できます。→P138

■ 相手が電話番号を通知してきたとき

相手の電話番号を電話帳に登録していない場合は、相手の電話番号が表示されます。

- 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、その映像が表示されます。

着信しています
ボタンで通話
携帯花子

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。→P87

- ワンタッチダイヤルに登録している場合は、相手の名前とワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。→P112
- ワンタッチダイヤルの着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、その映像が表示されます。動画／ｉモーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、ワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。

■ 相手の都合で電話番号が通知されなかったとき

着信しています
ボタンで通話
非通知設定

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知理由	意　味
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

- 非通知理由別着信設定で設定した着信動作が優先されます。→P164

着信中のサブメニューからの操作について

着信音が鳴っている間にサブメニュー（→P30）から次の操作ができます。
通話中着信動作選択（→P427）を「通常着信する」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 伝言メモ※1	伝言メモで応対します（クイック伝言メモ）。
2 留守番電話※2	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 転送でんわ※3	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
4 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※1 通話中に別の電話がかかってきたときは選択できません。
※2 留守番電話サービスをご契約いただいている場合に有効です。
※3 転送でんわサービスをご契約いただき、転送先を登録している場合に有効です。

通話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、次の動作が可能です。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターに接続します。→P422
キャッチホン	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に応答します。→P424
転送でんわサービス※	転送登録先へ転送します。→P424

※ 通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定した場合に限り、選択できます。→P427
● キャッチホンを契約されていない場合は、通話中着信音（「ププ…ププ…」）が鳴っても電話は受けられません。

お知らせ

● 電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定したり（→P166）、着信を拒否したり（→P168）できます。
● 電話帳に登録している相手に対して、着信拒否を設定できます。→P161
● 複数の通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P489
● FOMA端末から転送された電話がかかってきた場合は、着信画面の左下に転送元の電話番号が「転：XXX…」のように表示されます。転送元の電話番号を電話帳に登録している場合は名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合や、ワンタッチダイヤルに発信元の電話番号を登録していて、着信画像を設定している場合は、転送元の電話番号は表示されません。

● 通話中にメールを受信すると受信中に✉が、メッセージR/Fを受信すると受信中にR/Fがディスプレイ上部に点滅表示されます。メールの受信が完了した場合は、ディスプレイ上部にが表示されます。電話を切って待受画面に戻ると、メールを受信した場合は未読メールがあることを示す✉、メッセージR/Fを受信した場合は未読のメッセージR/Fがあることを示すR/Fがディスプレイ下部に表示されます。また、メールを受信した場合は新着情報も表示されます。→P23
● 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。
● ビル電話やPBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へ電話をかけられません。

オートスピーカーホン機能

自動で電話を受けます

お買い上げ時　解除する

電話がかかってきて着信音が約4秒間鳴った後、自動で電話を受けるように設定します。電話を受けるとスピーカーから相手の声が聞こえます。

● スピーカーホン機能を使用するときには、FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
● 本機能を設定すると、音量が大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
● 公共モード中またはマナーモード中は、本機能は動作しません。→P74、P135

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「8オートスピーカーホンを設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

● マナーモード中は、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。本機能を設定するときは「1解除する」を押します。

2 「1設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定した旨のメッセージが表示されます。

● 「2解除する」：オートスピーカーホン機能を解除します。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (─)を押すと待受画面に戻ります。
● オートスピーカーホンの設定中はディスプレイ上部にが表示されます。

- 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を使用した通話と同様です。→P53
- 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
  - 自動的に電話がつながる前に［ ］を押して電話を受けた場合
  - 通話中に電話がかかってきた場合
  - FOMA端末を折り畳んでいる場合
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や外部機器などを接続中の場合
- 本機能と無音着信時間設定（→P166）を同時に設定している場合、無音着信時間を４秒以上に設定すると、本機能は動作しません。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 電話帳指定着信拒否／許可（→P161）、非通知理由別着信設定（→P164）、登録外着信拒否（→P168）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。

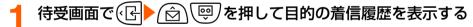
着信履歴

着信履歴を利用します

メニュー 11

かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出なかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときも記録されます。

- 最大30件記録されます。30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- 不在着信の場合は、着信してから相手が呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、着信履歴を残す目的だけの迷惑電話（「ワン切り」など）なのかどうかを確認できます。
- 履歴表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

〈例〉着信履歴から電話をかけるとき

1 待受画面で［ ］▶［ ］［ ］を押して目的の着信履歴を表示する

2 [ ]を押す

電話がかかります。

● 伝言メモが録音されている着信履歴は、決定を押すと伝言メモを再生できます。

■ i モードメールを作成するとき

メニュー▶「8メールを作る」を押す

着信履歴の電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面（→P268）が表示されます。

かかってきた電話に出なかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→P23）と が表示されます。

また、FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに着信が表示されます。

お知らせ

● 無音着信時間設定（→ P166）で設定した無音着信時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴の表示画面でメニュー▶「9表示切替」▶「1すべての着信」を押します。通常の着信履歴表示に戻す場合は、メニュー▶「9表示切替」▶「2呼出あり着信」を押します。

● 無音着信時間設定で設定した無音着信時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で を押すと、表示されていない不在着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「1表示する」を押すと、無音着信時間内の不在着信履歴が表示されます。

● 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。

着信履歴の削除

1件ずつ、またはすべての着信履歴をまとめて削除できます。伝言メモが録音されている着信履歴は、伝言メモを同時に削除することもできます。

1 待受画面で ▶ を押して削除する着信履歴を表示する

着信履歴の表示画面が表示されます。

2 メニュー▶「4削除する」を押す

削除する
着信履歴を
選んでください

1選択1件
2全件
3選択1件と伝言
4全件と伝言

1選択1件：表示していた1件の着信履歴を削除します。

2全件：着信履歴を全件削除します。

3選択1件と伝言：表示していた1件の着信履歴と伝言メモを削除します。

4全件と伝言：着信履歴と伝言メモを全件削除します。

次ページへ

3 「1選択1件」～「4全件と伝言」のいずれかを押す

選択した／全ての着信履歴を削除した旨、または選択した／全ての着信履歴と伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

着信履歴の表示画面に戻ります。着信履歴がない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

受話音量

相手の声の音量を調節します

お買い上げ時　音量4

● 音量1（最小）～音量6（最大）の6段階で調節できます。
● 受話音量は電源を切っても保持されます。
● 受話音量は、ボタン確認音や伝言メモの再生音量にも反映されます。

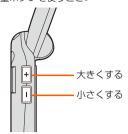
通話中の調節

1 通話中に または を押す

2 ✉ 📖 ⇦ ⇨ または + − を押して音量を調節する

● 次のボタンを押して音量を調節できます。

<マルチカーソルボタンを使うとき>

<音量ボタンを使うとき>

● 決定、戻る、— を押すか、ボタンの操作を止めてしばらくすると音量が設定され、通話中の画面に戻ります。

待受中の調節

1 待受画面で メニュー ▶「8 初めに行う設定」▶「5 相手の声の音量を調節する」を押す

2 ✉ 📖 ⇦ ⇨ または + − を押して音量を調節 ▶ 決定 を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● — を押すと待受画面に戻ります。

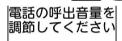
着信音量

着信音の音量を調節します

お買い上げ時　音量4

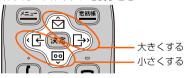
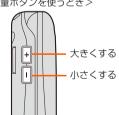
● 消音、音量1～音量6の7段階で調節できます。待受中は「だんだん大きく」にも設定できます。
● 待受中に設定した着信音量は、電源を切っても保持されます。
● 待受中に設定した着信音量は、電池残量確認音、メール受信音量、予定を通知する音声の音量にも反映されます。ただし、本機能を「だんだん大きく」に設定した場合は、電池残量確認音には「音量4」が、メール受信音量または予定を通知する音声の音量には「音量3」が反映されます。

着信中の調節

1　着信中に または を押す

● 音量1のときに ／ ／ :
「消音」に設定します。

2　 または を押して音量を調節する

● 次のボタンを押して音量を調節できます。

<マルチカーソルボタンを使うとき>

<音量ボタンを使うとき>

待受中の調節

1 **待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「3電話を受けた時の音を設定する」▶「2電話を受けた時の音量を調節する」を押す**

電話の呼出音量を
調節してください
大 +
小 -
音量4
自動音量設定オン
ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝで設定

2 **または+−を押して音量を調節▶(決定)を押す**

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

● 音量6のときに／／+：
「だんだん大きく」（消音→音量1→…→音量6）に設定します。

● 音量1のときに／／−：
「消音」に設定します。

3 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 着信音量を消音に設定しているときは、待受画面にSが表示されます（S:SILENT（サイレント））。また、同時に電話のバイブレータを設定中は、SVが表示されます。マナーモード中はが表示されます。

● 着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときにディスプレイのメッセージ表示の他に、バイブレータの振動や背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。→P131、P138

騒音の中での自動音量調節の設定<自動音量設定>

お買い上げ時　大きくする

本機能を「大きくする」に設定すると、電話がかかってきたときに周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えると待受中に設定した着信音量がだんだん大きくなります。

● 着信音量を音量１～音量5に設定している場合のみ、本機能が動作します。
● マナーモード中は、本機能は動作しません。

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「3電話を受けた時の音を設定する」▶「2電話を受けた時の音量を調節する」▶(メニュー)を押す

騒がしい場所では
呼出音量を自動で
大きくしますか？
設定は音量1-5の
場合のみ有効です

1大きくする
2設定音量のまま

1大きくする　　：自動音量設定オンに設定します。騒音が多い場合に音量をだんだん大きくします。
2設定音量のまま：自動音量設定オフに設定します。自動調節しません。

2 「1大きくする」または「2設定音量のまま」を押す

電話の呼出音量を
調節してください

自動音量設定オン
ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝで設定

<「1大きくする」を押した場合>

音量調節画面が表示され、自動音量設定オン／オフが確認できます。

● (—)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 騒音レベル測定中は、背面ディスプレイや着信音、バイブレータ、ランプは動作せず、騒音レベル測定完了後より開始されます。
● 騒音レベル測定中にボタン操作を行うと、本機能は動作しません。
● 騒音レベル測定中は音量の調節はできません。

応答保留

すぐに電話に出られないとき保留にします

●応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に[終話キー]を押す

応答保留になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」という応答保留ガイダンスが流れます。

応答保留 はっきりボイス
[ ]ボタンで保留解除
15秒
090XXXXXXXX

●応答保留中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに「応答保留中」が表示されます。
●応答保留中に[終話キー]を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

2 電話に出られる状態になったら[[ ]を押す

お知らせ

●オートスピーカーホン機能を設定中は、着信してからオートスピーカーホン機能が動作するまでの約4秒間に応答保留の操作を行ってください。→P65

公共モードを利用します

公共モード（ドライブモード）の設定

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

- 公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に 圏外 が表示されているときでも可能です。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
- 緊急通報（110番、119番、118番）をすると、本機能は解除されます。

---

1 待受画面で(￥)を1秒以上押す

公共モード（ドライブモード）を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ 公共モードを解除するとき

公共モード中に待受画面で(￥)を1秒以上押す

公共モードを解除した旨のメッセージが表示されます。

---

2 (決定)を押す

4/8〈日〉
8:30
モード 決定 長押し

- 本機能を設定中は待受画面に が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに が表示されます。
- 着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（ドライブモード）を設定すると

電話がかかってきたときは相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→P23）が表示され、着信履歴に記録されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
  - 電話および64Kデータ通信の着信音
  - メールやメッセージR/Fの着信音
  - 目覚ましや予定のアラーム音
  - 待受中の電池残量警告音※
  - 充電開始音
  - 充電完了音

  ※ FOMA端末を折り畳んでいるとき、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示もされません。
- FOMA端末を折り畳んでいる場合に、電話の着信、メールやメッセージR/Fを受信したときなどは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

公共モード（電源OFF）の設定

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

1　待受画面で*25251▶[を押す

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モードを解除するとき

公共モード中に待受画面で*25250▶[を押す

公共モードが解除されます。

■ 公共モードの設定内容を確認するとき

待受画面で*25259▶[を押す

現在の設定内容のガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を設定すると

電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源 OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）中の着信動作

サービス名	電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、留守番電話サービスセンターに接続されます。※
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、転送先に転送されます。※ 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。
迷惑電話ストップサービス	相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れ切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れ切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れ切断されます。

※ 呼出時間が「0秒」の場合は公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音します

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。

- 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。
- 履歴表示制限中や個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

伝言メモの設定　メニュー 152

お買い上げ時　停止する

1　待受画面で[伝言メモ]を1秒以上押す

伝言メモを設定した旨のメッセージが表示されます。

2　[決定]を押す

待受画面に戻ります。

- [終話]を押しても待受画面に戻ります。
- 伝言メモの設定中は待受画面に[伝言メモ]（黒）が表示されます。

■ 伝言メモを停止するとき

伝言メモ設定中に待受画面で[伝言メモ]を1秒以上▶[決定]を押す

伝言メモを停止した旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- 伝言メモが4件録音されると、待受画面に[伝言メモ]（赤）が表示されます。この場合、伝言メモを停止してもマークは消えず、新たに伝言メモを設定することもできません。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。→P83

伝言メモを設定したときは

● 伝言メモを設定していても電話を受けられます。

1 電話がかかってくる

伝言メモ応答中
携帯花子
090XXXXXXXX

呼出時間設定の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

● FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」が表示されます。

2 相手のメッセージが録音される

伝言メモ録音中
携帯花子
090XXXXXXXX

録音終了までの目安が表示されます。

● 録音の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音が終了すると、電話が切れる

4/8(日)8:30

伝言メモが録音されると、待受画面に新着情報（→P23）と が表示されます。

● FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに 伝言 が表示されます。

お知らせ

● 伝言メモ応答中、伝言メモ録音中でも を押して電話に出ることができます。このとき、電話に出るまでの録音内容は記録されません。
● 圏外 が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
● 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せずに着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
● 電波の状態により、伝言メモの録音内容が途切れる場合があります。
● 伝言メモが録音された場合でも、着信履歴に記録されます。

録音開始までの時間設定＜呼出時間設定＞

お買い上げ時　8秒

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「5伝言メモを使う」▶「2伝言メモを設定する」▶「3呼出時間設定」を押す

伝言メモの
呼出時間を
設定してください
(0～120秒)

8　秒

2 呼出時間を入力▶(決定)を押す

呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

●0～120秒の間で設定します。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●オート着信機能設定（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時→P416）、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を各サービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。

●オート着信機能設定の応答時間と本機能の呼出時間を同じ時間に設定できません。→P416

●オートスピーカーホン機能と本機能を同時に設定している場合、本機能の呼出時間を3秒以下に設定していると本機能が動作します。→P65

●無音着信時間の設定に関わらず、着信した時点から伝言メモの呼出時間がカウントされます。→P166

伝言メモ応答メッセージの選択<伝言メモメッセージ選択>

お買い上げ時　標準

●応答メッセージは、次の3種類から選択できます。

種　類	内　容
1 標準	ただいま、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。
2 会議中用	会議中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。
3 移動中用	移動中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。

1 待受画面で(メニュー)▶「1 電話帳を使う　履歴を見る」▶「5 伝言メモを使う」▶「3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ」を押す

伝言メモの
応答メッセージを
選んでください

1 標準
2 会議中用
3 移動中用

● (電話帳)：応答メッセージを再生します。
● 応答メッセージ再生中に(メール)(i)／(+)(−)：
再生中の応答メッセージの音量を調節します。
● 応答メッセージ再生中に([ )：受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます。

2 「1 標準」～「3 移動中用」のいずれかを押す

伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音します

伝言メモが停止中でも、着信中に操作を行うと、その着信に限り伝言メモを動作させることができます。

● この操作は、伝言メモを設定するものではありません。

1 着信中に(メニュー)▶「1伝言メモ」を押す

伝言メモ応答中
携帯花子
090XXXXXXXX

伝言メモ応答中の画面が表示され、相手のメッセージが録音されます。

お知らせ

● 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、本機能を使用できません。不要な伝言メモを削除してください。→P83

メニュー 151

伝言メモを再生／削除します

● 未確認の伝言メモがあるときは、待受画面に新着情報（→P23）とが表示されます。

● 履歴表示制限中や個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

伝言メモの再生

1 待受画面で(伝言メモ)を押す

伝言メモ
2件あります
(決定)

● 伝言メモが録音されていない場合は、伝言メモがない旨のメッセージが表示されます。

次ページへ

2 決定を押す

伝言メモ1
4月 8日 日曜日
8時30分
携帯花子
090XXXXXXXX

- 伝言メモの番号
- 伝言メモを録音した日付、曜日、時間が表示されます。
- 国際電話がかかってきたときに表示されます。
- 電話番号が表示され、電話帳に登録しているときは名前も表示されます。→P87
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由が表示されます。→P63

3 ⬆⬇を押して再生する伝言メモを表示▶決定を押す

伝言メモ再生中
携帯花子
090XXXXXXXX
音量4

時間経過の目安が表示されます。

伝言メモが再生されます。
- 決定：伝言メモの再生を途中で停止します。
- ⬆⬇／＋－：再生中の伝言メモの音量を調節します。
- 【：受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます。

再生が終了すると、伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1削除する」または「2削除しない」を押す

■ 削除するとき

「1削除する」▶決定を押す

次の伝言メモの表示画面が表示されます。

- 次の伝言メモがない場合は待受画面に戻ります。

■ 削除しないとき

「2削除しない」を押す

伝言メモの表示画面に戻ります。

- ー を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 伝言メモの表示画面で【を押すと電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択して電話をかけることもできます。→P57

伝言メモの削除

1件ずつ、またはすべての伝言メモをまとめて削除できます。

1 **待受画面で[伝言メモ]▶[決定]▶[メール][伝言メモ]を押して削除する伝言メモを表示する**

伝言メモの表示画面が表示されます。

2 **[メニュー]▶「7削除する」を押す**

削除する
伝言メモを
選んでください

1選択1件
2全件

3 **「1選択1件」または「2全件」を押す**

選択した／全ての伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 **[決定]を押す**

伝言メモの表示画面に戻ります。伝言メモがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。